



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月7日

上場会社名 三井金属エンジニアリング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1737 URL http://www.mesco.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 潤一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 木原 基廣 TEL 03-5610-7833  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,059	147.6	171	—	172	—	115	—
26年3月期第1四半期	3,254	△16.7	△118	—	△100	—	△58	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 67百万円 (5.1%) 26年3月期第1四半期 64百万円 (△33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	9.00	—
26年3月期第1四半期	△4.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	19,429	10,398	53.5
26年3月期	18,981	10,778	56.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 10,398百万円 26年3月期 10,788百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

26年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,900	54.4	210	28.8	220	13.4	130	4.8	10.17
通期	29,100	24.4	1,280	△2.0	1,320	△4.1	780	△0.4	61.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成26年8月7日)公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	12,780,000株	26年3月期	12,780,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	3,822株	26年3月期	3,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	12,776,715株	26年3月期1Q	12,776,740株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく変わる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当期のわが国経済は、政府の経済政策及び日本銀行による金融政策により、緩やかな景気の回復基調が継続しており、欧州景気の動向及び新興国景気の減速への警戒感、並びに、消費税増税の影響で景況感の小幅な悪化もありますが、総じて景気回復の明るい兆しが見られました。

建設業界におきましては、経済対策により公共投資は増加傾向にあり、また、民間設備投資の回復もあり底堅く推移しておりますが、受注における厳しい価格競争が継続する経営環境にあります。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は 8,059百万円（前年同四半期比 147.6%増）と大幅に増加いたしました。

これはエンジニアリング事業における非鉄金属関連工事の当期完成増によるものであります。

損益面では、売上高の増収などから、営業利益171百万円（前年同四半期 営業損失 118百万円）、経常利益172百万円（前年同四半期 経常損失 100百万円）となりました。

また、法人税等を調整した四半期純損益につきましては、四半期純利益 115百万円（前年同四半期四半期純損失58百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①エンジニアリング事業

非鉄金属関連の前期繰越工事案件及び大規模な定期修理工事の完成があり売上高は 7,093百万円（前年同四半期比211.7%増）と大幅な増収となりました。

また、損益は増収に伴い、経常利益 355百万円（前年同四半期比 366.4%増）となりました。

#### ②パイプ・素材事業

パイプ・素材事業の売上高は、前年同四半期とほぼ同額の969百万円（前年同四半期比 1.9%減）となりました。

また、損益は、経常損失 39百万円（前年同四半期 経常損失 36百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して、受取手形・完成工事未収入金等が 1,012百万円減少し、預け金が 1,626百万円増加したことなどにより、447百万円増加し 19,429百万円（前連結会計年度末比 2.4%増）となりました。

負債については、支払手形・工事未払金等が 1,246百万円増加したことなどにより、827百万円増加し、9,030百万円（前連結会計年度末比 10.1%増）となり、また、純資産は、剰余金の配当等により 447百万円減少し、10,398百万円（前連結会計年度末比 3.5%減）となりました。

この結果、自己資本比率は 53.5%（前連結会計年度 56.8%）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末において、借入金等の有利子負債はありません。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第1四半期累計期間における業績の進捗を勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月14日に発表いたしました平成27年3月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（平成26年8月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債及び利益剰余金に与える影響はありません。また、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,515,629	2,344,599
受取手形・完成工事未収入金等	9,412,461	8,400,419
未成工事支出金	1,510,988	1,338,990
商品及び製品	130,167	128,162
材料貯蔵品	241,776	347,603
前渡金	4,561	48
預け金	2,604,523	4,230,554
繰延税金資産	280,577	275,245
その他	87,051	151,513
貸倒引当金	△10,161	△9,079
流動資産合計	16,777,576	17,208,056
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	533,059	535,280
機械・運搬具	1,711,429	1,712,826
工具器具・備品	862,664	863,729
土地	1,099,000	1,099,000
リース資産	5,443	5,443
建設仮勘定	73,587	102,933
減価償却累計額	△2,633,792	△2,661,574
有形固定資産合計	1,651,391	1,657,638
無形固定資産		
ソフトウェア	45,224	54,028
その他	8,073	8,055
無形固定資産合計	53,298	62,083
投資その他の資産		
投資有価証券	66,667	63,782
繰延税金資産	245,783	253,775
その他	206,270	201,360
貸倒引当金	△19,308	△17,119
投資その他の資産合計	499,412	501,799
固定資産合計	2,204,102	2,221,521
資産合計	18,981,679	19,429,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,960,741	6,207,130
未払法人税等	514,147	55,318
未成工事受入金	693,990	718,035
賞与引当金	343,500	174,850
役員賞与引当金	30,000	—
完成工事補償引当金	119,600	132,100
工事損失引当金	76,200	113,800
その他	368,466	538,604
流動負債合計	7,106,645	7,939,839
固定負債		
退職給付に係る負債	1,008,304	1,009,007
役員退職慰労引当金	62,462	54,100
繰延税金負債	1,035	1,020
その他	25,000	27,000
固定負債合計	1,096,802	1,091,127
負債合計	8,203,448	9,030,966
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,085,350	1,085,350
資本剰余金	684,400	684,400
利益剰余金	8,926,501	8,594,368
自己株式	△2,083	△2,500
株主資本合計	10,694,167	10,361,617
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△19,789	△10,026
為替換算調整勘定	39,049	△10,016
退職給付に係る調整累計額	64,802	57,036
その他の包括利益累計額合計	84,062	36,993
純資産合計	10,778,230	10,398,611
負債純資産合計	18,981,679	19,429,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高		
完成工事高	2,741,677	7,415,156
兼業事業売上高	512,976	644,100
売上高合計	3,254,653	8,059,256
売上原価		
完成工事原価	2,377,807	6,770,361
兼業事業売上原価	413,602	538,753
売上原価合計	2,791,409	7,309,115
売上総利益		
完成工事総利益	363,869	644,794
兼業事業総利益	99,374	105,346
売上総利益合計	463,243	750,140
販売費及び一般管理費	581,315	578,261
営業利益又は営業損失(△)	△118,071	171,879
営業外収益		
受取利息	12,937	15,107
為替差益	3,278	—
雑収入	3,088	2,204
営業外収益合計	19,304	17,311
営業外費用		
支払利息	24	19
為替差損	—	13,946
持分法による投資損失	1,532	1,930
貸貸収入原価	296	45
雑支出	200	526
営業外費用合計	2,054	16,466
経常利益又は経常損失(△)	△100,820	172,723
特別損失		
固定資産除却損	147	132
会員権評価損	—	1,450
特別損失合計	147	1,582
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△100,968	171,141
法人税等	△42,565	56,088
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,402	115,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58,402	115,052



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△58,402	115,052
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	379	9,762
為替換算調整勘定	115,399	△48,112
退職給付に係る調整額	—	△7,765
持分法適用会社に対する持分相当額	7,316	△954
その他の包括利益合計	123,095	△47,069
四半期包括利益	64,692	67,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,692	67,983

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,270,547	984,106	3,254,653
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,861	4,360	9,221
計	2,275,408	988,466	3,263,875
セグメント利益又は損失(△)	76,146	△36,394	39,751

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	39,751
全社費用(注)	△140,572
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△100,820

(注)全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,093,459	965,796	8,059,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	3,589	3,639
計	7,093,509	969,386	8,062,895
セグメント利益又は損失(△)	355,132	△39,062	316,069

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	316,069
全社費用(注)	△143,346
四半期連結損益計算書の経常利益	172,723

(注)全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリング事業	4,231,678	84.8	9,331,581	100.5
パイプ・素材事業	1,854,433	119.0	2,163,933	88.3
セグメント間の内部売上高又は振替高	△193,089	—	△199,422	—
合 計	5,893,022	90.1	11,296,092	96.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③売上実績

当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリング事業	7,093,509	311.7
パイプ・素材事業	969,386	98.1
セグメント間の内部売上高又は振替高	△3,639	—
合 計	8,059,256	247.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。